

通園（児童発達支援、放課後等デイサービス）評価について

当院通園ルームの概要

通園ルーム「ひまわり」は在宅の重症心身障害児者を支援するために、平成13年に「重症心身障害児者通園事業B型」として開設されました。平成24年度からは、法改正に伴い「生活介護」「児童発達支援」「放課後等デイサービス」の多機能型として再スタートしました。

基本理念は「在宅重症心身障害児者に活動の場を提供することで、生活リズムを作り、生活の質を高め潤いのある生活を保障するとともに経験の幅を広げ社会性を養う」ことにあります。同時に「家族の介護負担を軽減し、安定した在宅生活を送ることができるよう支援する」ことが重要と考えています。

児童発達支援、放課後等デイサービス（保護者評価）

児童発達支援登録者5名、放課後等デイサービス登録者5名、計10名の保護者の皆様へ評価をお願いし、4名の方より回答を得ました。調査用紙はガイドラインで示された様式を使用しました。

1. 環境体制整備については皆さんから「適切」との回答をいただきました。
2. 適切な支援の提供は、ほぼ「適切」の回答でしたが「障害のない子どもとの交流の機会」について「いいえ」「わからない」の回答がみられました。
3. 保護者への説明等では、ほぼ「適切」との回答でしたが、保護者会活動支援については「いいえ」又は「わからない」の回答でした。今年度は例年実施している保護者会総会や病院幹部職員との意見交換が中止となっているためと思われます。
4. 非常時の対応では、災害・感染等の対応マニュアルの整備や訓練の実施は「わからない」の回答が多くみられました。マニュアルや訓練の実施は病院内規程に則り整備しておりますが、保護者への周知が不十分であり、課題であることが分かりました。
5. 満足度では「子どもが楽しみにしているか」は「わからない」との回答もみられました。「事業所の支援に満足しているか」には全員が「満足している」の回答でした。

その他自由記述として以下の感想をいただきました。

- ・たくさん抱っこして貰い、歌って貰い、楽しく過ごせているようで利用して良かったと思っている
- ・食事も少しずつ摂取量が増えて、新しい好物の発見もあり嬉しく思う
- ・就学前に母親と離れて、通園に通う経験ができ、子どもが通園に慣れていく様子に安心した
- ・利用開始時間を早めてもらえると助かる
- ・安心して預けることができる
- ・母親が気づかない所に気づき気にかけてくれたり、医師との連携でアドバイスも受けられる

- ・就学についても通園職員に学校との仲介をして貰い、スムーズに対応して貰えた
- ・週に1回の入浴は、家族の負担が軽くなり助かっている
- ・今年は新型コロナの影響があり、催しなどは予定通りではないが、楽しい催しを工夫して貰い嬉しく思う

児童発達支援及び放課後等デイサービス（自己評価）

支援に関わる職員6名の自己評価をお示しします。調査用紙はガイドラインで示された様式を使用しました。

1. 環境体制整備は適切に運営されています。
2. 業務改善については、「保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか」の問いで、昨年度より「はい」の回答が増えましたが、「ホームページ等での公開を知らない」との回答もみられました。また、研修への参加には全員が「参加している」との回答でした。
3. 適切な支援の提供は「適切に行っている」との回答でした。当院では「児童発達支援計画（個別支援計画）」に基づいた看護、療育を実施しております。
4. 関係機関や保護者との連携は、概ね「連携が図れている」との回答でした。必要に応じ行政機関や他事業者との情報共有を図っています。特別支援学校とは在学生の実習受け入れを行っています。また、家族とコミュニケーションを大切にし、家族支援に努めていますが、家族支援プログラムを作成しての支援には至っていません。
5. 保護者への説明責任等はほぼ全ての質問に「支援している」との回答でした。保護者会との連携、通信の発行、個別支援計画の説明交付の機会等を活用し実施しています。
6. 非常時等の対応は「できている」との回答でした。病院として「緊急時対応マニュアル」「感染症対応マニュアル」を整備しています。虐待防止については、「人権擁護委員会」で病院として取り組んでおり、職員対象の研修を実施しています。

まとめ

この度はアンケート調査にご協力いただきありがとうございます。

当院では「個別支援計画」を中心に医療・福祉連携により利用児童への支援を実施しています。今年度は新型コロナウイルス対応により、支援計画の大幅な変更と支援方法の工夫が求められています。今回の調査により、病院や通園ルームでの様々な取り組みについて利用者、保護者の方に分かりやすくお伝えするという課題が明確になりました。今後の通園ルーム「ひまわり」の運営と利用児童への支援に活かしていきます。

2020年10月27日

国立病院機構下志津病院通園ルームひまわり

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 吉田 誠